

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8108:1992	建設機械用稼働記録計	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8110:2000	土工機械—サービス診断用計測器具	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8201:1993	シールド掘進機の仕様書様式	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8301:2000	土工機械—整備用開口部最小寸法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8304:2001	土工機械—運転員の座席の振動評価試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8307:2006	土工機械—ガード—定義及び要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8309:1993	土工機械—けん引力測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8318:2001	土工機械—座席基準点(SIP)	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8319:2001	土工機械—走行速度の測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8320:2001	土工機械—機械全体、作業装置及び構成部品の質量測定方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8322:2001	土工機械—寸法、性能及び容量の単位並びに測定 の正確さ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8323:2001	土工機械—運転席及び整備領域—端部の丸み	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8324:2001	土工機械—電線及びケーブル—識別の原則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8327:2017	土工機械—機械装着警報ブザー類及び警音器— 試験方法及び性能基準	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8335:2017	土工機械—非金属製燃料タンクの性能要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8338:2021	土工機械—物体検知装置及び視界補助装置—性 能要求事項及び試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8403-1:1996	土工機械—油圧ショベル—第1部:用語及び仕様項 目	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8407:2000	土工機械—操縦装置の操作範囲及び位置	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8411-1:2006	土工機械—寸法及びコードの定義—第1部:本体	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8411-2:2006	土工機械—寸法及びコードの定義—第2部:作業装 置	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8420-1:2002	土工機械—トラクタドーザー—第1部:用語及び仕様 項目	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8421-2:2011	土工機械—ローダー—第2部:仕様書様式及び性能 試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8422-2:1996	土工機械—ダンプトラック—第2部:重ダンプトラック の仕様書様式	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8501:1994	ディーゼルバイルハンマの仕様書様式	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8502:1994	振動バイルハンマの仕様書様式	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8504:1994	アースオーガの仕様書様式	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8505:1994	アースドリルの仕様書様式	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8506:1994	振動ローラの仕様書様式及び性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8507:2002	建設用回転圧縮機の仕様書様式及び性能試験方 法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8701:1994	アスファルトフィニッシャの仕様書様式及び性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8905:1993	建設機械用搭載工具の種類及び寸法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8911:2007	土工機械—シートベルト及びその取付部—性能要求事項及び試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8913:1991	土工機械—排油、給油及び点検用プラグ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8915:1995	土工機械の重心位置測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8921-2:2011	土工機械—ショベル系掘削機保護構造の台上試験及び性能要求事項—第2部:6トンを超える油圧ショベルの転倒時保護構造(ROPS)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8921:2001	土工機械—ミニショベル横転時保護構造(TOPS)—試験方法及び性能要求項目	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS A 8922:2001	土工機械—油圧ショベル—運転員保護ガードの試験及び性能要求事項	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0028:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)—寸法及び公差の表示方式—円すい	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0031:2022	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状の図示方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 0106:2016	工作機械—部品及び工作方法—用語	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0107:1991	バイト用語	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0125-3:2022	油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第3部:記号モジュール及び図記号の接続	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS B 0137:2007	間接静電複写機用語	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0201:2017	ミニチュアねじ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0205-1:2001	一般用メートルねじ—第1部:基準山形	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0205-2:2001	一般用メートルねじ—第2部:全体系	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0205-3:2001	一般用メートルねじ—第3部:ねじ部品用を選択したサイズ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0205-4:2001	一般用メートルねじ—第4部:基準寸法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0209-1:2001	一般用メートルねじ—公差—第1部:原則及び基礎データ	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0209-2:2001	一般用メートルねじ—公差—第2部:一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法—中(はめあい区分)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0209-3:2001	一般用メートルねじ—公差—第3部:構造体用ねじの寸法許容差	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0209-4:2001	一般用メートルねじ—公差—第4部:めつき後に公差位置H又はGにねじ立てをしためねじと組み合わせる溶融亜鉛めっき付きおねじの許容限界寸法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 0209-5:2001	一般用メートルねじ—公差—第5部:めつき前に公差位置hの最大寸法をもつ溶融亜鉛めっき付きおねじと組み合わせるめねじの許容限界寸法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0634:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)—フィルタ処理—線形の輪郭曲線フィルタ:ガウシアンフィルタ	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	01 基本	確認	JIS B 0641-5:2021	製品の幾何特性仕様(GPS)—製品及び測定装置の測定による検査—第5部:指示測定器の適合性検査における不確かさ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0642:2022	製品の幾何特性仕様(GPS)—測定機器の一般的な概念及び要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0670:2002	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状:輪郭曲線方式—触針式表面粗さ測定機の校正	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0671-1:2022	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状:輪郭曲線方式:フラット構造表面の特性評価—第1部:フィルタ処理及び測定条件	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0671-2:2002	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状:輪郭曲線方式:フラット構造表面の特性評価—第2部:線形表現の負荷曲線による高さの特性評価	廃止を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、廃止公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0671-3:2002	製品の幾何特性仕様(GPS)—表面性状:輪郭曲線方式:フラット構造表面の特性評価—第3部:正規確率紙上の負荷曲線による高さの特性評価	廃止を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、廃止公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0682-1:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)—真円度—第1部:用語及びパラメータ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0682-2:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)—真円度—第2部:仕様オペレータ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0683-1:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)—真直度—第1部:用語及びパラメータ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	01 基本	確認	JIS B 0683-2:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)—真直度—第2部:仕様オペレータ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 0955-3:2022	工作機械—環境評価—第3部:金属切削工作機械のエネルギー効率に関する試験の原則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1012:1985	ねじ用十字穴	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1045:2001	締結用部品—水素ぜい化検出のための予荷重試験—平行座面による方法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1048:2007	締結用部品—溶融亜鉛めっき	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1081:1997	ねじ部品—引張疲労試験—試験方法及び結果の評価	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1084:2007	締結用部品—締付け試験方法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1101:2017	すりわり付き小ねじ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1111:2017	十字穴付き小ねじ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1124:2021	タッピンねじのねじ山をもつドリルねじ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1126:2022	つば付き六角タッピンねじ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1167:2011	T溝ナット	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1170:2011	溝付き六角ナット	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1177:2007	六角穴付き止めねじ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1187:2017	座金組込み六角ボルト	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1188:2017	座金組込み十字穴付き小ねじ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1194:2006	六角穴付き皿ボルト	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1199-2:2001	プリベリングトルク形ナット—第2部:全金属製六角ナット	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1199-3:2001	プリベリングトルク形ナット—第3部:非金属インサート付きフランジ付き六角ナット	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 1199-4:2001	プリベリングトルク形ナット—第4部:全金属製フランジ付き六角ナット	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ねじ研究協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2291:1994	油圧用21MPa管フランジ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2292-1:2005	油圧—容積式ポンプ及びモーター取付フランジ及び軸端の寸法並びに表示記号—第1部:メートル単位で表示するインチ系列	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2292-2:2005	油圧—容積式ポンプ及びモーター取付フランジ及び軸端の寸法並びに表示記号—第2部:メートル系列	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2356-1:2001	油圧・空気圧用及び一般用途用管継手—エラストマシール又はエッジシールによるメートルねじポート及び継手端部—第1部:メートルねじポート	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2356-2:2021	油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手—エラストマシール又はエッジシールによるメートルねじポート及び継手端部—第2部:エラストマシール(タイプE)による継手端部	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2358-1:2001	油圧・空気圧用及び一般用途用管継手—Oリングシールによるユニファイねじポート及び継手端部—第1部:ユニファイねじOリングシールポート	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2401-1:2012	Oリング—第1部:Oリング	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2401-2:2012	Oリング—第2部:ハウジングの形状・寸法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2401-3:2012	Oリング—第3部:外観品質基準	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2401-4:2012	Oリング—第4部:バックアップリング	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2409:2002	油圧—密封装置—油圧用往復動シールの性能評価標準試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2710-3:2021	重ね板ばね—第3部:測定及び試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ばね工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2710-4:2021	重ね板ばね—第4部:製品仕様	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ばね工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 2712:2006	ばね用薄板の応力緩和試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ばね工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4125:2016	刃先交換チップ用ホルダー—角シャンク及びカートリッジの呼び記号の付け方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-1:2016	刃先交換チップ用ホルダー—角シャンクの形状・寸法—第1部:一般事項	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-10:2016	刃先交換チップ用ホルダー—角シャンクの形状・寸法—第10部:切れ刃の形状記号N	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-11:2016	刃先交換チップ用ホルダー—角シャンクの形状・寸法—第11部:切れ刃の形状記号R	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-12:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第12部:切れ刃の形状記号S	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-13:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第13部:切れ刃の形状記号T	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-14:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第14部:切れ刃の形状記号H	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-15:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第15部:切れ刃の形状記号V	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-2:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第2部:切れ刃の形状記号A	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-3:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第3部:切れ刃の形状記号B	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-4:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第4部:切れ刃の形状記号D	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-45:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第45部:切れ刃の形状記号E	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-5:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第5部:切れ刃の形状記号F	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-6:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第6部:切れ刃の形状記号G	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-7:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第7部:切れ刃の形状記号J	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-8:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第8部:切れ刃の形状記号K	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4126-9:2016	刃先交換チップ用ホルダー角シャンクの形状・寸法—第9部:切れ刃の形状記号L	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4355:2016	歯車用ホブの精度	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 4357:2000	丸形シェービングカッタ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本機械工具工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6190-2:2016	工作機械試験方法通則—第2部:数値制御による位置決め精度試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6203-1:2007	ひざ形フライス盤—精度検査—第1部:水平主軸をもつ機械	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6203-2:2007	ひざ形フライス盤—精度検査—第2部:垂直主軸をもつ機械	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6214:1996	立て軸回転テーブル形平面研削盤—精度検査	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6220:2021	心なし研削盤—精度試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6336-3:2000	マシニングセンター検査条件—第3部:固定又は連続割出万能主軸頭をもつ機械の静的精度(垂直Z軸)	廃止を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、廃止公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6336-8:2002	マシニングセンター検査条件—第8部:直交3平面内での輪郭運動性能の評価	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	1: IDT	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 6336-9:2002	マシニングセンター検査条件—第9部:工具交換及びバレット交換時間の評価	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本工作機械工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 7132-1:2022	顕微鏡の機械筒長関連寸法—第1部:機械筒長160mm	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本顕微鏡工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 7132-2:2022	顕微鏡の機械筒長関連寸法—第2部:機械筒長無限遠	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本顕微鏡工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 7143:2022	顕微鏡接眼レンズと接眼スリーブとのはめあい部	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本顕微鏡工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 7158-2:2011	顕微鏡対物レンズの性能及び表示—第2部:色収差補正	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本顕微鏡工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 7254:2007	顕微鏡—倍率	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本顕微鏡工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 7255:2007	顕微鏡—Cマウント	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本顕微鏡工業会	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS B 7440-5:2022	製品の幾何特性仕様(GPS)—座標測定システム(CMS)の受入検査及び定期検査—第5部:シングル及びマルチスタイラス接触プロービングシステムを用いた離散点及びスキャニング測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	01 基本	確認	JIS B 7440-9:2017	製品の幾何特性仕様(GPS)一座標測定システム(CMS)の受入検査及び定期検査―第9部:マルチセンサシステム付き座標測定機	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	02 計測計量	確認	JIS B 7552:2011	液体用流量計の校正方法及び試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人日本計量機器工業連合会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	02 計測計量	確認	JIS B 7556:2022	気体用流量計の校正及び器差試験	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人日本計量機器工業連合会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS B 7751:2007	紫外線カーボンアーク灯式の耐光性試験機及び耐候性試験機	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本試験機工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS B 7753:2007	サンシャインカーボンアーク灯式の耐光性試験機及び耐候性試験機	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本試験機工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS B 7754:1991	キセノンアークランプ式耐光性及び耐候性試験機	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本試験機工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS B 7757:1995	強制循環式空気加熱老化試験機	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本試験機工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS B 7758:2016	動電式振動試験装置―性能特性	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本試験機工業会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8017:1987	小形陸用空冷ガソリンエンジン性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本陸用内燃機関協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8018:1989	小形陸用ディーゼルエンジン性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本陸用内燃機関協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8032-10:2021	内燃機関―小径ピストンリング―第10部: 鋳鉄製ハーフキーストリング	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本陸用内燃機関協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8032-14:2021	内燃機関―小径ピストンリング―第14部: スチール製キーストリング	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本陸用内燃機関協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8032-15:2021	内燃機関―小径ピストンリング―第15部: スチール製ハーフキーストリング	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本陸用内燃機関協会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8032-6:2016	内燃機関―小径ピストンリング―第6部: 鋳鉄製レクタングラリング	改正または廃止を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正または廃止公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本陸用内燃機関協会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS B 8101:2021	蒸気タービンの一般仕様	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 火力原子力発電技術協会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8348:2002	油圧―ポンプ及びモーター―試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8353-1:2006	油圧―音響インテンシティ法による音響パワーレベルの測定方法―実用測定方法―第1部: ポンプ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8356-2:2021	油圧用フィルタ性能評価方法―第2部: フィルタエレメントの組立完全性試験及びファーストバブルポイントの測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8356-7:2006	油圧用フィルタ性能評価方法―第7部: 差圧―流量特性試験	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8356-8:2002	油圧用フィルタ性能評価方法―第8部: フィルタエレメントのろ過性能試験(マルチバステスト法)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8357:2022	油圧用圧力補償付流量調整弁―取付面及び取付寸法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8372-1:2022	空気圧―空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁―第1部: 供給者の文書に表示する主要特性及び製品表示要求事項	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8372-2:2022	空気圧―空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁―第2部: 供給者の文書に表示する主要特性の試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8372-3:2022	空気圧―空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁―第3部: 減圧弁の流量特性の代替試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8377-1:2002	油圧・空気圧システム及び機器―シリンダの試験・検査―第1部: 空気圧シリンダ受渡検査	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8378-1:2011	空気圧―空気圧用ルブリケーター―第1部: 供給者の文書に表示する主要特性及び製品表示要求事項	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8380:2002	空気圧用制御弁及び他機器のポート及び制御機構の識別	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8381-1:2022	空気圧用継手—第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8384:2011	油圧—容積式ポンプ、モータ及び一体形トランスミッション—定常状態における性能測定方法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8624:2002	氷蓄熱システム用語	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本冷凍空調工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS B 8625:2002	空気調和用氷蓄熱ユニット—試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本冷凍空調工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8651:2002	比例電磁式リリーフ弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8652:2002	比例電磁式減圧弁及び比例電磁式リリーフ減圧弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8653:2002	比例電磁式絞り弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8654:2002	比例電磁式シリーズ形流量調整弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8655:2002	比例電磁式シリーズ形方向流量調整弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8656:2002	比例電磁式バイパス形流量調整弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8657:2002	比例電磁式バイパス形方向流量調整弁試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8669:2006	油圧—バルブのポート、サブプレート、マニホールドブロック及びソレノイドの識別記号	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 8671:2006	油圧—作動油の標準エラストマーに対する適合性	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	2: MOD	
JSA	08 機械要素	確認	JIS B 9930:2006	油圧—作動油汚染—光学顕微鏡を用いた計数法による微粒子測定方法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本フルードパワー工業会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 0806-1:2022	自動実装部品の包装—第1部:アキシヤルリード線端子部品の連続テープによる包装	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1031:1990	工業プロセス用圧力・差圧伝送器の試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1271-1:2011	交流電子式電力量計—精密電力量計及び普通電力量計—第1部:一般仕様	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1272-1:2011	交流電子式電力量計—超特別精密電力量計及び特別精密電力量計—第1部:一般仕様	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1273-1:2011	交流電子式無効電力量計—第1部:一般仕様	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1507:2006	電気音響—音響インテンシティ測定器—圧力形ベアマイクロホンによる測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	公益社団法人日本騒音制御工学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1512:1996	騒音レベル、振動レベル記録用レベルレコーダ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	公益社団法人日本騒音制御工学会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1513-2:2021	電気音響—オクターブバンド及び1/1Nオクターブバンドフィルタ(分析器)—第2部:型式評価試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	公益社団法人日本騒音制御工学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1513-3:2021	電気音響—オクターブバンド及び1/1Nオクターブバンドフィルタ(分析器)—第3部:定期試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	公益社団法人日本騒音制御工学会	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS C 1613:2007	メタルハライドランプ方式試験機用高エネルギー紫外放射照度計	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本試験機工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1803:1995	工業プロセス計測制御機器の性能表示法通則	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1804:1995	工業プロセス計測制御機器の使用環境条件	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1805-1:2001	プロセス計測制御機器—性能評価の一般的方法及び手順—第1部:一般的考察	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1805-2:2001	プロセス計測制御機器—性能評価の一般的方法及び手順—第2部:基準状態における試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	05 電気	確認	JIS C 1805-3:2001	プロセス計測制御機器—性能評価の一般的方法及び手順—第3部:影響量の効果に関する試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 1805-4:2001	プロセス計測制御機器—性能評価の一般的方法及び手順—第4部:評価報告書の内容	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気計測器工業会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2107:2011	電気絶縁用粘着テープ試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本粘着テープ工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2110-1:2016	固体電気絶縁材料—絶縁破壊の強さの試験方法—第1部:商用周波数交流電圧印加による試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2110-2:2016	固体電気絶縁材料—絶縁破壊の強さの試験方法—第2部:直流電圧印加による試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2110-3:2016	固体電気絶縁材料—絶縁破壊の強さの試験方法—第3部:インパルス電圧印加による試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2116:2011	電気絶縁用マイカ製品試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2134:2021	固体絶縁材料の保証及び比較トラッキング指数の測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2135:2011	乾燥固体電気絶縁材料—高電圧小電流耐アーク性試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2142:2016	固体電気絶縁材料—試験前及び試験時における標準状態	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2143-2:2011	電気絶縁材料—熱的耐久性—第2部:熱的耐久性の測定—評価指標の選択	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2254:2011	電熱用マイカ板	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2262:2012	電気絶縁用ガラスクロス補強ドライ集成マイカ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2263:2012	電気絶縁用ガラスクロス補強エポキシプリブレグ集成マイカ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2264:2012	電気絶縁用ポリエステルフィルム補強エポキシプリブレグ集成マイカ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2265:2012	電気絶縁用プラスチックフィルム・不織布補強ドライ集成マイカ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2322:2011	電気用二軸配向ポリエチレンナフタレートフィルム	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2323-3-4:2016	電気用非セルローズ紙—第3-4部:個別製品規格—50%以下のマイカを含んだアラミド紙	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2324-1:2016	電気用積層プレスボード—第1部:定義、分類及び一般要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2324-2:2016	電気用積層プレスボード—第2部:試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 2560-2:2006	フェライト磁心—第2部:試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 2560-3-1:2006	フェライト磁心—第3-1部:寸法及び外観—E形フェライト磁心	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 2560-3:2016	フェライト磁心—第3部:寸法及び外観異常	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 2570-2:2021	直熱形NTCサーミスタ—第2部:品種別通則—表面実装形NTCサーミスタ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2801:1995	整流子片	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 2810:1995	屋内配線用電線コネクタ通則—分離不能形	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気設備学会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3101:1994	電気用硬銅線	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3102:1984	電気用軟銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3103:1984	電気機器巻線用軟銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	05 電気	確認	JIS C 3104:1994	平角銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3105:1994	硬銅より線	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3106:1976	電気用荒引銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3109:1994	硬アルミニウムより線	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3151:1994	すずめつき硬銅線	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3152:1984	すずめつき軟銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3215-0-6:2017	巻線共通規格—第0—6部:一般特性—樹脂又はワニスを含浸させたガラス巻銅線及びエナメルガラス巻銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3215-31:2017	巻線個別規格—第31部:樹脂又はワニスを含浸させた、温度指数180のガラス巻平角銅線及びエナメルガラス巻平角銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3215-32:2017	巻線個別規格—第32部:樹脂又はワニスを含浸させた、温度指数155のガラス巻平角銅線及びエナメルガラス巻平角銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3215-48:2017	巻線個別規格—第48部:樹脂又はワニスを含浸させた、温度指数155のガラス巻銅線及びエナメルガラス巻銅線	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3215-49:2017	巻線個別規格—第49部:樹脂又はワニスを含浸させた、温度指数180のガラス巻銅線及びエナメルガラス巻銅線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3301:2000	ゴムコード	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3306:2000	ビニルコード	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3307:2000	600Vビニル絶縁電線(IV)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3315:2000	口出用ゴム絶縁電線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3317:2000	600V二種ビニル絶縁電線(HIV)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3323:2012	600Vけい素ゴム絶縁電線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	05 電気	確認	JIS C 3327:2000	600Vゴムキャブタイヤケーブル	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3340:2000	屋外用ビニル絶縁電線(OW)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3341:2000	引込用ビニル絶縁電線(DV)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3342:2012	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VV)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3401:2022	制御用ケーブル	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3609:2000	高圧引下用絶縁電線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3612:2022	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3621:2000	600V EPゴム絶縁ケーブル	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 3803:1977	がいし及びブッシング用語	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5101-16:2021	電子機器用固定コンデンサ—第16部:品種別通則:固定メタライズドポリプロピレンフィルム直流コンデンサ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5201-1:2021	電子機器用固定抵抗器—第1部:品目別通則	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5270:2011	電子機器用コンデンサ及び抵抗器—軸操作形部品の操作軸、取付ねじ及び取付孔の形状並びに推奨寸法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5381-12:2021	低圧サージ防護デバイス—第12部:低圧電源システムに接続するサージ防護デバイスの選定及び適用基準	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5381-331:2021	低圧サージ防護用部品—第331部:金属酸化バリスタ(MOV)の要求性能及び試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5402-12-1:2016	電子機器用コネクタ—試験及び測定—第12-1部:はんだ付け試験—試験12a:はんだ付け性、ぬれ(ウェットिंग)、はんだ槽法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5402-12-2:2016	電子機器用コネクタ—試験及び測定—第12-2部:はんだ付け試験—試験12b:はんだ付け性、ぬれ(ウェットिंग)、はんだこて法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5402-12-4:2016	電子機器用コネクタ—試験及び測定—第12-4部:はんだ付け試験—試験12d:はんだ耐熱性、はんだ槽法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5402-12-5:2016	電子機器用コネクタ—試験及び測定—第12-5部:はんだ付け試験—試験12e:はんだ耐熱性、はんだこて法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5402-22-1:2016	電子機器用コネクタ—試験及び測定—第22-1部:静電容量試験—試験22a:静電容量	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	06 電子	確認	JIS C 5402-8-2:2016	電子機器用コネクタ—試験及び測定—第8-2部: 静的な力試験(固定形コネクタ)—試験8b: 静的な力、軸方向	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5445:2021	電子機器用スイッチ—第1部: 通則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気制御機器工業会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5504:2016	ホーンスピーカ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	6: 無(提無)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5630-1:2017	マイクロマシン及びMEMS—第1部: マイクロマシン及びMEMSに関する用語	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人マイクロマシンセンター	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5630-6:2011	マイクロマシン及びMEMS—第6部: 薄膜材料の軸荷重疲労試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人マイクロマシンセンター	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS C 5750-3-1:2006	ディペンダビリティ管理—第3-1部: 適用の指針—ディペンダビリティ解析手法の指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS C 5750-4-3:2021	ディペンダビリティマネジメント—第4-3部: システム信頼性のための解析技法—故障モード・影響解析(FMEA及びFMECA)	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5877-2:2012	偏光子試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5914-3:2017	光伝送用サーキュレータ—第3部: シングルモード光ファイバビッグテール形光サーキュレータ	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5920-3:2017	光伝送用パワー制御受動部品—第3部: シングルモード光ファイバビッグテール形電気制御式可変光減衰器	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5948:2017	光伝送用半導体レーザモジュールの信頼性評価方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5953-1:2016	光伝送用能動部品—性能標準—第1部: 総則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5953-7:2017	光伝送用能動部品—性能標準—第7部: GPON用光トランシーバ	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5954-4:2017	光伝送用能動部品—試験及び測定方法—第4部: GPON用光トランシーバ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5955-1:2016	光伝送用能動部品—性能標準テンプレート—第1部: 単直列伝送リンク用光送・受信モジュール	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5965-2-4:2016	光ファイバコネクタ光学互換標準—第2-4部: 基準接続用シングルモード直角PC端面光ファイバの接続パラメータ	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 5965-2-5:2016	光ファイバコネクタ光学互換標準—第2-5部: 基準接続用シングルモード斜めPC端面光ファイバの接続パラメータ	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60068-1:2016	環境試験方法—電気・電子—第1部: 通則及び指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60068-2-18:2021	環境試験方法—電気・電子—第2-18部: 耐水性試験及び指針(試験記号: R)	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60068-2-30:2011	環境試験方法—電気・電子—第2-30部: 温湿度サイクル(12+12時間サイクル)試験方法(試験記号: Db)	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60068-2-61:1996	環境試験方法—電気・電子—連耐候性試験	対応国際規格は廃止されているが、技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60068-3-8:2006	環境試験方法—電気・電子—第3-8部: 振動試験方法の選択の指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6010-1:2021	電気及び電子機器実装の機械的構造 開発のためのモジュラーオーダー—第1部: 基準規格	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60695-10-3:2021	火災危険性試験—電気・電子—第10-3部: 異常発生熱—成形応力解放変形試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60695-5-2:1999	環境試験方法—電気・電子—耐火性試験: 燃焼放出物による腐食損傷の評価—試験方法の選択及び適用の指針	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	無	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	05 電気	確認	JIS C 60695-8-1:2021	火災危険性試験—電気・電子—第8-1部:発熱量—一般指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60721-2-7:2006	環境条件の分類—第2部:自然環境の条件—第7節:動植物系	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 60721-3-7:1999	環境条件の分類—環境パラメータとその厳しさのグループ別分類 携帯及び移動使用の条件	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 61000-4-11:2021	電磁両立性—第4-11部:試験及び測定技術—電圧ディップ、短時間停電及び電圧変動に対するイミュニティ試験(1相当たりの入力電流が16A以下の機器)	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 61000-4-16:2017	電磁両立性—第4-16部:試験及び測定技術—直流から150kHzまでの伝導コモンモード妨害に対するイミュニティ試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 61000-4-34:2017	電磁両立性—第4-34部:試験及び測定技術—1相当たりの入力電流が16Aを超える電気機器の電圧ディップ、短時間停電及び電圧変動に対するイミュニティ試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6101-2:1998	テレビジョン受信機試験方法 第2部:音声チャンネル—モノラルチャネルの電氣的測定と一般的方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6101-3:1998	テレビジョン受信機試験方法 第3部:副搬送波方式使用の音声多重テレビジョン受信機の電氣的測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 61083-2:2016	インパルス電圧及び電流試験に用いるソフトウェアに関する要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電気学会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61191-6:2011	プリント配線板実装—第6部:BG&及びLGAのはんだ接合部のボイド評価基準及び測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6121-1:2021	光増幅器—第1部:通則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6122-10-3:2012	光増幅器—測定方法—第10-3部:マルチチャネルパラメータ—プローブ法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6122-10-5:2022	光増幅器—測定方法—第10-5部:マルチチャネルパラメータ—分布ラマン増幅器の利得及び雑音指数	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6122-3-1:2011	光増幅器—測定方法—第3-1部:雑音指数パラメータ—光スペクトラムアナライザ法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6122-3-3:2016	光増幅器—測定方法—第3-3部:雑音指数パラメータ—信号対総ASEパワー比	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61280-1-3:2017	光ファイバ通信サブシステム試験方法—第1-3部:中心波長及びスペクトル幅測定	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61280-1-4:2022	光ファイバ通信サブシステム試験方法—第1-4部:一般通信サブシステム—光源エンサークルドフラックス測定	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61280-2-10:2012	光ファイバ通信サブシステム試験方法—第2-10部:レーザ送信器の時間分解チャープ及びアルファファクタ測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61280-2-2:2017	光ファイバ通信サブシステム試験方法—第2-2部:光アイバタ、光波形及び消光比測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61281-1:2021	光ファイバ通信サブシステム—第1部:通則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-2-22:2012	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第2-22部:温度サイクル試験	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-2-47:2012	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第2-47部:熱衝撃試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-2-49:2016	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第2-49部:取付け済み光ファイバコード付きファイバコネクタプラグの曲げ試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-2-50:2016	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第2—50部:光ファイバクランプ強度試験—非通光左右曲げ引張り	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-2-51:2016	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第2—51部:光ファイバクランプ強度試験—通光左右曲げ引張り	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-3-14:2016	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第3—14部:可変光減衰器の減衰量の設定の誤差及び再現性測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-3-2:2012	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第3—2部:シングルモード光デバイスの光損失の偏光依存性	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61300-3-47:2016	光ファイバ接続デバイス及び光受動部品—基本試験及び測定手順—第3—47部:干渉法による直角PC端面及び斜めPC端面単心円筒形フェーリングの端面形状測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 61340-2-1:2006	静電気—測定方法—材料及び製品の静電気電荷拡散性能の測定方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 日本電子部品信頼性センター	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 61340-4-7:2011	静電気—第4—7部:特定応用のための標準的試験方法—イオナイザー	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 日本電子部品信頼性センター	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 61760-4:2021	表面実装技術—第4部:感湿性部品の分類、包装、表示及び取扱い	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6185-1:2017	オプティカルタイムドメインリフレクトメータ(OTDR)—第1部:試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6187-1:2016	光波長計—第1部:試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6188:2021	測定用光減衰器校正方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6189:2022	光反射減衰量測定器試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62137-1-3:2011	表面実装技術—はんだ接合部耐久性試験方法—第1—3部:繰返し落下試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62137-1-4:2011	表面実装技術—はんだ接合部耐久性試験方法—第1—4部:繰返し曲げ試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62137-1-5:2011	表面実装技術—はんだ接合部耐久性試験方法—第1—5部:せん断疲労試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62246-1-1:2016	リードスイッチ—第1—1部:品質評価及び試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気制御機器工業会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62246-1:2016	リードスイッチ—第1部:品目別通則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電気制御機器工業会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS C 62504:2016	一般照明用LED製品及び関連装置の用語及び定義	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 照明学会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62610-2:2021	電気及び電子装置用の機械的構造—屋内キャビネットの熱管理—第2部:強制空冷構造の決定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62610-5:2021	電気及び電子装置用の機械的構造—屋内キャビネットの熱管理—第5部:屋内キャビネットの冷却性能	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 62610-6:2021	電気及び電子装置用の機械的構造—屋内キャビネットの熱管理—第6部:屋内キャビネットのエア再循環及びバイパス	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6803:2022	レーザ製品の安全—光ファイバ通信システムの安全	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6821:2022	光ファイバ機械特性試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6837:2022	全プラスチックマルチモード光ファイバ素線	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6870-2-30:2022	光ファイバケーブル—第2—30部:屋内ケーブル—終端ケーブルアセンブリに使用するテープ形光ファイバコード品種別通則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	06 電子	確認	JIS C 6872:2022	光ファイバ—測定方法及び試験手順—ビート長	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	05 電気	確認	JIS C 7510:2000	自転車発電ランプ用電球	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7526:1990	光度標準電球	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7527:2011	ハロゲン電球(自動車用を除く)―性能仕様	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7604:2006	高圧水銀ランプ―性能規定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7605:2011	殺菌ランプ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7612:1985	照度測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 照明学会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7613:2011	測光標準用電球の測光方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 照明学会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7621:2011	高圧ナトリウムランプ―性能仕様	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7709-1:2022	電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性 第1部 口金	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7709-2:2022	電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性 第2部 受金	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7709-3:2022	電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性 第3部 ゲージ	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 7803:2011	蛍光ランプ封入水銀質量の測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本照明工業会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS C 8306:1996	配線器具の試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本配線システム工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 8310:2000	シーリングローゼット	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本配線システム工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 8358:1994	電気器具用差込接続器	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本配線システム工業会	3: NEQ	
JSA	05 電気	確認	JIS C 8375:1992	大角形連用配線器具の取付枠	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本配線システム工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS C 9317:1995	ポータブル・スポット溶接機用溶接変圧器	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS D 0006-2:2000	土工機械―エンジン―第2部:ディーゼルエンジンの仕様書様式及び性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS D 0007:1994	タイヤローラの仕様書様式及び性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	11 産業機械	確認	JIS D 0008:1994	ロードローラの仕様書様式及び性能試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本建設機械施工協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1054:2002	銅及び銅合金中の鉄定量方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本伸銅協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1061:2006	銅及び銅合金中のけい素定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本伸銅協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1063:2002	銅合金中のベリリウム定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本伸銅協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1064:1992	銅中のテルル定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本伸銅協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1065:2006	銅及び銅合金中のセレン定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本伸銅協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1069:2006	銅及び銅合金中のカドミウム定量方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本伸銅協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1322:2017	マグネシウム及びマグネシウム合金―スパーク放電発光分光分析方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本マグネシウム協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1613:1997	チタン及びチタン合金中のマンガン定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1615:1997	チタン中の塩素定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1618:2012	チタン及びチタン合金—けい素定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 1619:2012	チタン及びチタン合金—水素定量方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 2150:2017	マグネシウム地金	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本マグネシウム協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 4650:2016	チタン及びチタン合金—棒	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 4657:2016	チタン及びチタン合金—鍛造品	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 4670:2016	チタン及びチタン合金—線及び線材	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本チタン協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS H 7304:2017	超電導—超電導体のマトリックス比試験方法—銅安定化ニオブ・チタン複合超電導線の銅比	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS H 7308:2017	超電導—超電導体に対するマトリックス体積比試験方法—ニオブ3すず複合超電導線の非銅部に対する銅部体積比	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	1: IDT	
JSA	05 電気	確認	JIS H 7309:2012	超電導—臨界温度試験方法—複合超電導体の抵抗法による臨界温度	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本電線工業会	1: IDT	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS H 8651:2011	マグネシウム及びマグネシウム合金の化成皮膜及び陽極酸化皮膜	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本マグネシウム協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 1557-1:2007	プラスチック—ポリウレタン原料ポリオール試験方法—第1部:水酸基価の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 1557-2:2007	プラスチック—ポリウレタン原料ポリオール試験方法—第2部:水分量の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 1557-3:2007	プラスチック—ポリウレタン原料ポリオール試験方法—第3部:不飽和度の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 1557-5:2007	プラスチック—ポリウレタン原料ポリオール試験方法—第5部:色数、粘度、酸価及びpHの求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6216-1:2001	ゴム用カーボンブラック—共通事項—第1部:試料採取方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6217-5:2022	ゴム用カーボンブラック—基本特性—第5部:比着色力の求め方	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6220-5:2021	ゴム用配合剤—有機薬品—第5部:有機過酸化物質試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6227:1998	ゴム—カーボンブラックの定量—熱分解法及び化学分析法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6233:2016	ゴム—イオンクロマトグラフィーによる全硫黄の求め方(定量)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6235:2006	原料ゴム—HNBRのよう素価法による残留不飽和結合量の求め方(定量)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6240:2011	原料ゴム—示差走査熱量測定(DSC)によるガラス転移温度の求め方	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6254:2016	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—応力—ひずみ特性の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6256-3:2006	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—接着性の求め方—第3部:2枚の金属板間の接着強さ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6260:2017	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—耐屈曲亀裂性及び耐屈曲亀裂成長性の求め方(デマチャ式)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6263:2022	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—応力緩和の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6268:1998	加硫ゴム—密度測定	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 6269:2011	加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの酸素指数法による燃焼性試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6271-1:2022	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—電気抵抗率の求め方—第1部:二重リング電極法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6275-1:2022	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—ガス透過性の求め方—第1部:差圧法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6330-10:1998	ゴム及び樹脂ホース試験方法—第10部:液体透過性試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6330-5:1998	ゴム及び樹脂ホース試験方法—第5部:電気試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6330-8:1998	ゴム及び樹脂ホース試験方法—第8部:衝撃圧力試験	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6370:2022	リレッドタイヤ用練り生地	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6383:2001	合成ゴム—SBR—試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6384:2016	合成ゴム—NBR—試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6388:2001	合成ゴム—CR—試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6394:2007	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—動的性質の求め方—一般指針	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6411:2012	道路橋免震用ゴム支承に用いる積層ゴム—試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6418:2007	熱可塑性エラストマー—用語及び略号	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本ゴム工業会	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6422:2016	防振ゴム—性能区分	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6451-1:2016	合成ゴム—NBR—結合アクリロニトリル量の求め方—第1部:デュマ法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6451-2:2016	合成ゴム—NBR—結合アクリロニトリル量の求め方—第2部:ケルダール法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ゴム工業会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6719-1:2011	プラスチック—ポリカーボネート(PC)成形用材料及び押出用材料—第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6719-2:2011	プラスチック—ポリカーボネート(PC)成形用材料及び押出用材料—第2部:試験片の作製方法及び特性の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6739:2016	排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6741:2016	硬質ポリ塩化ビニル管	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6774:2022	ガス用ポリエチレン管	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 6775-2:2022	ガス用ポリエチレン管継手—第2部:スピゴット継手	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6775-3:2022	ガス用ポリエチレン管継手—第3部:エレクトロフュージョン継手	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6776:2016	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6777:2016	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管継手	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6778:2016	ポリブテン管	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6779:2016	ポリブテン管継手	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6813:2002	ポリオレフィン管及び継手—灰化及び熱分解によるカーボンブラック含有量の求め方—試験方法及び基本仕様	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6815-1:2002	熱可塑性プラスチック管—引張特性の求め方—第1部:一般試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6815-2:2002	熱可塑性プラスチック管—引張特性の求め方—第2部:硬質塩化ビニル(PVC-U)管、耐熱性硬質塩化ビニル(PVC-C)管及び耐衝撃性硬質塩化ビニル(PVC-HI)管	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6815-3:2002	熱可塑性プラスチック管—引張特性の求め方—第3部:ポリオレフィン管	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6876-2:2007	プラスチック—アクリロニトリル—スチレン—アクリル酸エステル(ASA)、アクリロニトリル—(エチレン—プロピレン—ジエン)—スチレン(AEPDS)及びアクリロニトリル—塩素化ポリエチレン—スチレン(ACS)成形用及び押出用材料—第2部:試験片の作り方及び性質の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6899-3:2002	プラスチック—記号及び略語—第3部:可塑性	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6901:2021	液状不飽和ポリエステル樹脂試験方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6902:2022	熱硬化性樹脂高圧化化粧板試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6903:2022	熱硬化性樹脂高圧化化粧板	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6904:2016	プラスチック—不飽和ポリエステル樹脂—ガスクロマトグラフィーによる残存スチレンモノマー及びその他の揮発性芳香族炭化水素類の定量方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6924-1:1997	プラスチック—エチレン／酢酸ビニル(E/VAC)成形用及び押出用材料—第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6924-2:1997	プラスチック—エチレン／酢酸ビニル(E/VAC)成形用及び押出用材料—第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 6925-1:1997	プラスチック―ポリブテン(PB)成形用及び押出用材料―第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6925-2:1997	プラスチック―ポリブテン(PB)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6926-1:2022	プラスチック―耐衝撃性ポリスチレン(PS—I)成形用及び押出用材料―第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6926-2:2022	プラスチック―耐衝撃性ポリスチレン(PS—I)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6927-1:1997	プラスチック―スチレン／アクリロニトリル(SAN)成形用及び押出用材料―第1部:呼び方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6927-2:1997	プラスチック―スチレン／アクリロニトリル(SAN)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6934-2:2007	プラスチック―アクリロニトリル―ブタジエンスチレン(ABS)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び性質の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6935-1:1996	プラスチック―ふっ素ポリマーのディスパージョン、成形用材料及び押出用材料―第1部:分類の体系と仕様作成のための基準	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6936-1:2007	プラスチック―超高分子量ポリエチレン(PE-UHMW)成形用及び押出用材料―第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6936-2:2007	プラスチック―超高分子量ポリエチレン(PE-UHMW)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び性質の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6937-1:2002	プラスチック―熱可塑性ポリエステル(TP)成形用及び押出用材料―第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6937-2:2002	プラスチック―熱可塑性ポリエステル(TP)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 6938-2:2007	プラスチック―メタクリル酸メチル―アクリロニトリル―ブタジエンスチレン(MABS)成形用及び押出用材料―第2部:試験片の作り方及び性質の求め方	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7079-2:2012	炭素繊維強化プラスチック―面内せん断試験方法―第2部:ダブルノッチせん断法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7080-2:2012	炭素繊維強化プラスチック―面圧強さ試験方法―第2部:直交積層板及び擬似等方積層板	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7093:2012	炭素繊維強化プラスチックの多孔圧縮強さ試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7094:2012	炭素繊維強化プラスチックの多孔引張強さ試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7095:2012	炭素繊維強化プラスチックの熱分析によるガラス転移温度測定法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7096:2017	炭素繊維強化プラスチック―積層板の板厚方向引張特性試験方法―曲げ試験による求め方	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7111-2:2006	プラスチック―シャルピー衝撃特性の求め方―第2部:計装化衝撃試験	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7129-5:2016	プラスチック―フィルム及びシート―水蒸気透過度の求め方―第5部:圧力センサ法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7129-6:2016	プラスチック―フィルム及びシート―水蒸気透過度の求め方―第6部:大気圧イオン化質量分析法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7129-7:2016	プラスチック―フィルム及びシート―水蒸気透過度の求め方―第7部:カルシウム腐食法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 7154-1:2002	プラスチック―熱硬化性樹脂成形材料の射出成形試験片―第1部:通則及び多目的試験片の成形	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7154-2:2002	プラスチック―熱硬化性樹脂成形材料の射出成形試験片―第2部:小形角板	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7171:2022	プラスチック―曲げ特性の求め方	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7181:2011	プラスチック―圧縮特性の求め方	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7201-1:2021	プラスチック―酸素指数による燃焼性の試験方法―第1部:一般要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7201-2:2021	プラスチック―酸素指数による燃焼性の試験方法―第2部:室温における試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7201-3:2021	プラスチック―酸素指数による燃焼性の試験方法―第3部:高温における試験	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7250-1:2006	プラスチック―灰分の求め方―第1部:通則	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7250-2:2002	プラスチック―灰分の求め方―第2部:ポリアルキレンテフタレート	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7250-4:2002	プラスチック―灰分の求め方―第4部:ポリアミド	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7251:2002	プラスチック―水分含有率の求め方	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7301:1995	熱硬化性ウレタンエラストマー用トリレンジイソシアネート型プレポリマー試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7312:1996	熱硬化性ポリウレタンエラストマー成形物の物理試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7367-1:2002	プラスチック―毛細管形粘度計を用いたポリマー希釈溶液の粘度の求め方―第1部:通則	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7380-1:2011	プラスチック―塩化ビニルホモポリマー及びコポリマー―残留塩化ビニルモノマーの求め方―第1部:ガスクロマトグラフ法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 7380-2:2011	プラスチック―塩化ビニルホモポリマー及びコポリマー―残留塩化ビニルモノマーの求め方―第2部:乾燥粉末・ガスクロマトグラフ法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8001:2017	試薬試験方法通則	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8008:1992	生化学試薬通則	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8042:2022	アニリン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8073:2017	安息香酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8089:2012	2,3-インドリンジオン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8092:2017	インジゴカルミン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 8102:2012	エタノール(95)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8105:2022	エチレングリコール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8107:2017	エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8111:2007	塩化亜鉛(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8125:1994	塩化カルシウム(水分測定用)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8136:2017	塩化ナトリウム(II)二水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8153:1995	ヘキサクロロ白金(IV)酸六水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8154:1995	塩化バリウム(II)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8155:2017	塩化バリウム二水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8160:2017	塩化マンガン(II)四水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8163:2022	ヘキサクロロ白金(IV)酸カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8197:1996	N-1-ナフチルエチレンジアミン二塩酸塩(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8223:2022	過塩素酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8271:2007	キシレン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8272:1994	キシレンシアノールFF(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8288:2007	くえん酸三ナトリウム二水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 8289:2012	クペロン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8342:2007	酸化りん(V)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8361:2022	酢酸エチル(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8374:2007	酢酸鉛(II)三水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8400:1994	塩化アンチモン(III)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8432:2017	酸化マグネシウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8454:1994	N、N-ジェチルジチオカルバミド酸ナトリウム三水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8461:2007	1, 4-ジオキサン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8463:2012	シクロヘキサノン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8464:2022	シクロヘキサン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8486:2007	2, 2'-ビピリジル(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8500:2007	N、N-ジメチルホルムアミド(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8506:2017	臭化カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8509:2007	臭化水素酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8529:2022	臭素(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8532:2007	L(+)-酒石酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 8533:2012	ビス[(+)ータルトラト]ニアンチモン(Ⅲ)酸ニカリウム三水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8536:2017	(+)ー酒石酸ナトリウムカリウム四水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8545:2007	硝酸アンモニウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8549:2017	硝酸カルシウム四水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8552:2017	硝酸コバルト(Ⅱ)六水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8556:1995	硝酸ニアンモニウムセリウム(Ⅳ)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8561:1994	硝酸トリウム四水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8565:2022	硝酸バリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8577:2007	水酸化バリウム八水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8589:2017	5ースルホサリチル酸二水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8615:2022	炭酸カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8617:2007	炭酸カルシウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8621:2022	炭酸水素カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8622:2022	炭酸水素ナトリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8625:2017	炭酸ナトリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8658:1996	でんぶん(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 8692:1994	1-ナフチルアミン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8693:1995	p-ナフトールベンゼイン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8698:1995	1-ナフトール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8699:1995	2-ナフトール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8701:1994	鉛(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8721:2022	4-ニトロフェノール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8738:1994	ヒドロキノン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8739:2017	発煙硝酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8776:1994	2-ヒドロキシ-1-(2-ヒドロキシ-4-スルホ-1-ナフチルアゾ)-3-ナフトエ酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8777:2017	ピリジン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8783:2012	二硫酸カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8785:2012	ニリン酸ナトリウム十水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8789:1995	1, 10-フェナントリン-水和水(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8798:2012	フェノール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8800:2012	フェノールレッド(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8802:2022	ヘキサシアニド鉄(ⅠⅠ)酸カリウム三水和水(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 8811:2012	2-メチル-1-プロパノール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8815:2012	ふっ化カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8819:2017	ふっ化水素酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8839:2007	2-プロパノール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8841:2012	プロモクレゾールパーブル(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8842:2012	プロモチモールブルー(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8844:2012	プロモフェノールブルー(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8848:2012	ヘキサン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8857:2012	ベンズアルデヒド(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8858:2007	ベンゼン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8863:2022	ほう酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8870:2017	ニンヒドリン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8896:2012	メチルレッド(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8897:2012	メチレンブルー(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8900:2012	2-ブタン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8943:2012	硫化アンモニウム溶液(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 8948:2012	硫化鉄(II)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8972:2012	硫酸水素カリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8976:2017	硫酸セリウム(IV)四水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8981:2012	硫酸鉄(III)n水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8987:2022	硫酸ナトリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	2: MOD	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8992:2012	硫酸ヒドラジニウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 8997:2012	硫酸マンガン(II)五水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9009:2012	りん酸二水素ナトリウム二水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9042:1996	テトラブロモフェノールフタレインエチルエステルカリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9047:2012	Ｌーグルタミン酸(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9050:1993	Ｌーヒステジン塩酸塩一水和物(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9102:2012	Ｌーヒドロキシプロリン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9105:2012	Ｌーセリン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9514:2012	ジフェニルアミン－４－スルホン酸ナトリウム(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9545:1994	ビス(３－メチル－１－フェニル－５－ピラゾロン)(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9569:1994	N－ベンゾイルN－フェニルヒドロキシルアミン(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	09 化学	確認	JIS K 9704:1994	2-アミノノ-2-ヒドロキシメチル-1, 3-エポキシジオール(試薬)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9810:1996	生化学試薬—硫酸アンモニウム	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9901:1994	高純度試薬—硝酸	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9902:1994	高純度試薬—塩酸	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9903:1994	高純度試薬—アンモニア水	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9904:1994	高純度試薬—過塩素酸	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9905:1995	高純度試薬—硫酸	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS K 9906:1995	高純度試薬—水酸化ナトリウム溶液	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本試薬協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	03 適合性評価	確認	JIS Q 0035:2022	標準物質—値付け並びに均質性及び安定性の評価に関する手引	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	03 適合性評価	確認	JIS Q 1000:2005	適合性評価—製品規格への自己適合宣言指針	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 14004:2016	環境マネジメントシステム—実施の一般指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 14005:2012	環境マネジメントシステム—環境パフォーマンス評価の利用を含む環境マネジメントシステムの段階的実施の指針	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 14006:2012	環境マネジメントシステム—エコデザインの導入のための指針	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 14015:2002	環境マネジメント—用地及び組織の環境アセスメント(EASO)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 14050:2012	環境マネジメント—用語	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 14063:2007	環境マネジメント—環境コミュニケーション—指針及びその事例	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	03 適合性評価	確認	JIS Q 17040:2006	適合性評価—適合性評価機関及び認定機関の同等性評価に対する一般要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	03 適合性評価	確認	JIS Q 17050-1:2005	適合性評価—供給者適合宣言—第1部: 一般要求事項	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	03 適合性評価	確認	JIS Q 17050-2:2005	適合性評価—供給者適合宣言—第2部: 支援文書	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 22313:2021	セキュリティ及びレジリエンス—事業継続マネジメントシステム—JISQ22301使用の手引	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	無	1: IDT	
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 27017:2016	情報技術—セキュリティ技術—JIS Q 27002に基づくクラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践の規範	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	04 管理システム規格	確認	JIS Q 9028:2021	マネジメントシステムのパフォーマンス改善—小集団改善活動の指針	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本品質管理学会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1614:2002	ファインセラミックスの酸及びアルカリ腐食試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1618:2002	ファインセラミックスの熱機械分析による熱膨張の測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1622:1995	ファインセラミックス原料粒子径分布測定のための試料調製通則	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1623:1995	ファインセラミックスの高温ビッカース硬さ試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1626:1996	ファインセラミックス粉体の気体吸着BET法による比表面積の測定方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1627:1996	マイクロ波用ファインセラミックスの誘電特性の試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1628:1997	ファインセラミックス粉末のかさ密度測定方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1629:1997	ファインセラミックス原料のレーザ回折・散乱法による粒子径分布測定方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1630:1997	ファインセラミックス接合の引張強さ試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1639-5:2007	ファインセラミックス—か(顆)粒特性の測定方法—第5部:単一か粒圧壊強さ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1639-6:2007	ファインセラミックス—か(顆)粒特性の測定方法—第6部:か粒体層圧縮挙動	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1640:2002	窒化けい素の相組成分析方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1641:2007	ファインセラミックス基板のマイクロ波誘電特性の測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1642-1:2002	ファインセラミックスの高温内部摩擦試験方法—第1部:自由減衰ねじり振子法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1642-2:2002	ファインセラミックスの高温内部摩擦試験方法—第2部:曲げ共振法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1643:2002	長繊維強化セラミックス複合材料の層間せん断強さ試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1644:2002	長繊維強化セラミックス複合材料の弾性率試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1645:2002	ファインセラミックスの噴流エロージョン試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1646:2002	ファインセラミックスのキャビテーションエロージョン試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1647:2002	ファインセラミックスの浸せき溶出試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1648:2002	ファインセラミックスの熱衝撃試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1650-1:2002	ファインセラミックス熱電材料の測定方法—第1部: 熱電能	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1650-2:2002	ファインセラミックス熱電材料の測定方法—第2部: 抵抗率	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1650-3:2002	ファインセラミックス熱電材料の測定方法—第3部: 熱拡散率・比熱容量・熱伝導率	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1651:2002	ファインセラミックスの焦電係数の測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1663:2017	長繊維強化セラミックス複合材料の室温における曲げ強さ試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1670:2006	ファインセラミックスのグレインサイズ測定方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	4: 無(提有)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案中又は提案予定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1671:2006	ファインセラミックス多孔体の水透過率及び水力等価直径試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1672:2006	長繊維強化セラミックス複合材料の示差走査熱量法による比熱容量測定方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1673:2007	長繊維強化セラミックス複合材料の常温における圧縮挙動試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1674:2007	ファインセラミックスの加工損傷による強度変化の統計的判定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1676:2007	ファインセラミックス多孔体の熱衝撃試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1677:2007	ファインセラミックス多孔体の室温曲げ疲労試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1691:2011	ファインセラミックスのボールオンディスク法による潤滑下の摩耗試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1699-1:2016	ファインセラミックス—高負荷環境下での圧電材料の特性—第1部: 共振・反共振法による高温環境条件下での測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1699-2:2016	ファインセラミックス—高負荷環境下での圧電材料の特性—第2部: 電氣的過渡応答法による高振動レベル下での測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1723:2015	長繊維強化セラミックス複合材料の高温における引張クリープ特性の試験方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1760:2016	ファインセラミックスの室温での圧子圧入(IF)法による破壊抵抗試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS R 1761:2016	固体酸化物形燃料電池用多孔質セラミックスのガス透過率測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本ファインセラミックス協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS R 7608:2007	炭素繊維—樹脂含浸ヤーン試料を用いた引張特性試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0007:2001	情報処理用語—プログラミング	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0015:2002	情報処理用語(プログラム言語)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	2: MOD	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	07 情報	確認	JIS X 0016:1997	情報処理用語(情報理論)	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0121:1986	情報処理用流れ図・プログラム網図・システム資源図記号	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0125:1986	決定表	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0134-1:2021	システム及びソフトウェア技術—システム及びソフトウェアアシュアランス—第1部:概念及び用語	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0166:2021	システム及びソフトウェア技術—ライフサイクルプロセス—要求エンジニアリング	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0180:2011	組込みソフトウェア向けコーディング規約の作成方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	独立行政法人 情報処理推進機構	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0201:1997	7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0210:1986	情報交換用文字列による数値表現	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0509:2012	情報技術—自動認識及びデータ取得技術—バーコードシンボル体系仕様—GS1データバー	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の定期見直しが予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本自動認識システム協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0521-1:2005	バーコード検証器の適合仕様—第1部:1次元シンボル	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の定期見直しが予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本自動認識システム協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0522-1:2005	バーコードスキャナ及び復号器の性能試験方法—第1部:1次元シンボル	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の廃止が予定されており、その動向を踏まえて廃止の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本自動認識システム協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0523:2007	バーコードのデジタル方式画像化及び印刷性能試験	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の廃止が予定されており、その動向を踏まえて廃止の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本自動認識システム協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0524:2007	バーコードマスタ試験仕様	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本自動認識システム協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 0526:2017	情報技術—自動認識及びデータ取得技術—バーコードシンボル印刷品質の評価仕様—二次元シンボル	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本自動認識システム協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 20246:2021	ソフトウェア及びシステム技術—ソフトウェア及びシステム開発における作業生産物のレビューのプロセス	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 25000:2017	システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価(SQaRE)—SQaREの指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 25001:2017	システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価(SQaRE)—計画及び管理	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 25020:2021	システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価(SQaRE)—品質測定の枠組み	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 25030:2021	システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価(SQaRE)—品質要求の枠組み	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 3001-2:2002	プログラム言語Fortran—第2部:可変長文字列	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 33020:2021	情報技術—プロセスアセスメント—プロセス能力のアセスメントのためのプロセス測定フレームワーク	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人情報処理学会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 4160:2007	XMLバス言語(XPath)1. 0	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	07 情報	確認	JIS X 4169:2007	XSL変換(XSLT)1. 0	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	07 情報	確認	JIS X 4177-2:2007	文書スキーマ定義言語(DSDL)—第2部:正規文法に基づく妥当性検証—RELAX NG	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 5150-1:2021	汎用情報配線設備—第1部:一般要件	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 5150-2:2021	汎用情報配線設備—第2部:オフィス施設	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、 JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	07 情報	確認	JIS X 6101:1991	情報交換用磁気テープ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6133:1997	情報交換用データ圧縮 埋め込み辞書での適応符号化—DCLZアルゴリズム	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6134:1997	情報交換用データ圧縮 2進算術符号化アルゴリズム	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6146:2001	8mm幅、ヘリカル走査記録、情報交換用磁気テープカートリッジ、AIT—1・MIC様式	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6147:2001	8mm幅、ヘリカル走査記録、情報交換用磁気テープカートリッジ、AIT—2・MIC様式	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6195:2011	情報処理用連続伝票	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6230:2022	情報の交換及び蓄積用のデジタル記録媒体—120mm単層(25ギガバイト／ディスク)及び2層(50ギガバイト／ディスク)BDレコーダブルディスク	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6231:2022	情報の交換及び蓄積用のデジタル記録媒体—120mm3層片面(100ギガバイト／ディスク)、3層両面(200ギガバイト／ディスク)及び4層片面(128ギガバイト／ディスク)BDレコーダブルディスク	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6232:2022	情報の交換及び蓄積用のデジタル記録媒体—120mm単層(25ギガバイト／ディスク)及び2層(50ギガバイト／ディスク)BD書換形ディスク	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般財団法人 光産業技術振興協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6302-1:2016	識別カード—記録技術—第1部:エンボス	対応国際規格の改訂内容に合わせてJISを改正しており、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6302-2:2016	識別カード—記録技術—第2部:磁気ストライプ—低保磁力	対応国際規格の改訂内容に合わせてJISを改正しており、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6911:2021	情報技術—事務機器—データプロジェクタの仕様書様式	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6912:2007	再使用部品を含む事務機器の品質及び性能に関する供給者宣言のための指針	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6931:2021	モノクロ電子写真式プリンタ及びプリンタ複合機のトナーカートリッジ印刷可能枚数測定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 6940:2011	情報技術—事務機器—プリンタ及び複合機の印刷生産性測定方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 7778:2001	音響—情報技術装置の表示騒音放射値	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 7779:2012	音響—情報技術装置から放射される空気伝搬騒音の測定	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 8341-7:2011	高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第7部:アクセシビリティ設定	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9002:1980	磁気インキ文字読取用字体及び印字仕様(E13B)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	2: MOD	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9007:1981	光学式文字認識のための手書き文字(英字)	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9008:1981	光学式文字認識のための手書き文字(記号)	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9009:1991	光学式文字認識のための手書き文字(平仮名)	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 電子情報技術産業協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9201:2001	高精細カラーデジタル標準画像(CMYK/SCID)	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9303-1:2006	情報技術—ユーザシステムインタフェース及びシンボルアイコン及び機能—第1部:アイコン—般	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9303-2:2006	情報技術—ユーザシステムインタフェース及びシンボルアイコン及び機能—第2部:オブジェクトアイコン	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9303-3:2006	情報技術—ユーザシステムインタフェース及びシンボルアイコン及び機能—第3部:ポインタアイコン	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	
JSA	07 情報	確認	JIS X 9303-6:2006	情報技術—ユーザシステムインタフェース及びシンボルアイコン及び機能—第6部:動作アイコン	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会	1: IDT	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3021:2016	溶接記号	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3090:2022	熔融溶接継手の外観試験方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3158:2016	y形溶接割れ試験方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3202:2007	銅及び銅合金ガス溶加棒	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3225:2007	9%ニッケル銅用被覆アーク溶接棒	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3231:2007	銅及び銅合金被覆アーク溶接棒	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3252:2012	鑄鉄用被覆アーク溶接棒、ソリッドワイヤ、溶加棒及びフラックス入りワイヤ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3282:2017	はんだ—化学成分及び形状	対応国際規格はJISをベースとした提案により改訂されており、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3283:2017	やに入りはんだ	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3319:2007	エレクトロガスアーク溶接用フラックス入りワイヤ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3321:2021	溶接用ステンレス銅溶加棒、ソリッドワイヤ及び銅帯	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3326:2007	硬化肉盛用アーク溶接フラックス入りワイヤ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3332:2007	9%ニッケル銅用ティグ溶加棒及びソリッドワイヤ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3333:2007	9%ニッケル銅用サブマージアーク溶接ソリッドワイヤ及びフラックス	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3336:2021	マグネシウム合金の溶加棒及び溶接ワイヤ	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本マグネシウム協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3341:2007	銅及び銅合金イナートガスアーク溶加棒及びソリッドワイヤ	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3420:2022	金属材料の溶接施工要領及びその適格性確認—一般原則	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3422-1:2022	金属材料の溶接施工要領及びその適格性確認—溶接施工法試験—第1部:鋼のアーク溶接及びガス溶接並びにニッケル及びニッケル合金のアーク溶接	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	一般社団法人 日本溶接協会	2: MOD	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3831:2002	プラスチック溶接技術検定における試験方法及び判定基準	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3900:1974	貴金属ろうのサンプリング方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3904:1979	金ろう分析方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3905:2006	ニッケルろう分析方法	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	10 金属・無機材料	確認	JIS Z 3910:2017	はんだ分析方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人 日本溶接協会	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	
JSA	09 化学	確認	JIS Z 7001:2007	プラスチック—環境側面—規格への一般導入指針	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	1: IDT	
JSA	09 化学	確認	JIS Z 7121:2007	プラスチックの循環的利用段階を含むライフサイクルインベントリ調査方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	日本プラスチック工業連盟	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8206:1982	工程図記号	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	6: 無(提未)対応国際規格が存在せず、今後の対応未定のもの。	

JIS作成予定(一覧表)(確認)

2026年1月8日現在

認定機関	産業標準作成委員会	公示の種類	規格番号	規格名称	左記理由	素案作成団体 (無と記載している場合は、JSA自身のWGを示す。)	対応国際規格との整合	備考
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8222-2:2006	製品技術文書に用いる図記号のデザイン—第2部: 参照ライブラリ用図記号を含む電子化形式の図記号の仕様、及びその相互交換の要求事項	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8222-3:2006	製品技術文書に用いる図記号のデザイン—第3部: 接続ノード、ネットワーク及びそのコード化の分類	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8245-1:2006	技術文書マネジメント—第1部: 原則及び方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8402-5:2002	測定方法及び測定結果の精確さ(真度及び精度)—第5部: 標準測定方法の精度を求めるための代替法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8403:1996	製品の品質特性—規格値の決め方通則	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8405:2021	試験所間比較による技能試験に使用する統計的方法	技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。ただし、対応国際規格の改訂が予定されており、その動向を踏まえて改正の要否を検討する予定。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8462-4:2006	測定方法の検出能力—第4部: 与えられた値が検出可能か否かの判定方法	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 8462-5:2011	測定方法の検出能力—第5部: 検量線が線形及び非線形である場合の方法	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	02 計測計量	確認	JIS Z 8706:1980	光高温計による温度測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人日本計量機器工業連合会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	02 計測計量	確認	JIS Z 8707:1992	充満式温度計及びバイメタル式温度計による温度測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人日本計量機器工業連合会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	02 計測計量	確認	JIS Z 8765:1980	タービン流量計による流量測定方法	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	一般社団法人日本計量機器工業連合会	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 9020-1:2016	管理図—第1部: 一般指針	対応国際規格の改訂内容が軽微であり、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	01 基本	確認	JIS Z 9061:2016	新技術及び新製品開発プロセスのための統計的方法の応用—ロバストパラメータ設計(RPD)	対応国際規格が改訂等されていないとともに、技術的な環境変化も生じていないため、確認とする。	無	1: IDT	
JSA	02 計測計量	確認	JIS Z 9090:1991	測定—校正方式通則	(対応国際規格は存在せず)技術的な環境変化が生じていないため、確認とする。	無	5: 無(提無)対応国際規格が存在せず、国際規格に提案しないもの。	
JSA	05 電気	確認	JIS Z 9126:2021	屋外照明基準	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 照明学会	2: MOD	
JSA	05 電気	確認	JIS Z 9290-4:2016	雷保護—第4部: 建築物等内の電気及び電子システム	改正を検討中だが、当該規格に係る実質的な利害関係を有する全ての者の意向を反映するための調整等に時間が必要であり、改正公示となるのが再来年度以降となる見込みのため、確認とする。	一般社団法人 電気設備学会	1: IDT	